

第75回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】コミュニティ施設の検討

コミュニティ施設の設置について、検討委員会は終了したものとされているが、検討委員会が提出した要望書に対する村からの回答が十分ではない。

私は住民代表であり、私の提案は「個人の意見」ではなく「住民の総意」である。検討委員会の活動の際に署名をいただいた方全員を対象とした住民説明会を開催したいと考えているため、村からの回答を示してほしい。

⇒【村長コメント】

検討委員会については終了しており、その後にはいただいている御意見・御提案については、「個人の意見」として認識している。

「住民の総意」とのことであれば、共に活動している方のお話を聞かせていただきたい。

【2】原電道路沿い（工事関係者駐車場付近）の外灯設置について

原電道路沿い（工事関係者駐車場付近）に外灯がないため夜間は非常に暗いが、原電の工事関係車両の出入りが多く、近隣住民は非常に危険を感じている。8月に一度役場に相談に行ったが、進展していない状況である。

できるだけ早く、外灯を設置していただきたい。

⇒【村長コメント】

外灯の種類によっても対応は異なることになるが、まずは村がどこまで対応できるものか確認する。併せて原電に対しても協力を要請する。

⇒【都市整備課コメント】

御要望のあった箇所について、令和2年度の自治会要望も提出されており、現場も確認いたしまして、設置が必要と判断したところでございます。なお、その旨12月25日付けで各自治会長宛に回答を送付いたしました。

工事につきましては、令和2年度中に工事を行います。一括での発注となりますので、もう少々お時間をいただければと思いますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【3】①シニアスマホ講習会について

中央公民館主催のシニアスマホ講座に落選してしまったので、また開催してほしい。社会福祉協議会主催のLINE講座はとても分かりやすく好評だった。

⇒【村長コメント】

中央公民館主催のシニアスマホ講座は当選倍率が非常に高い。また、今年度は年明けにもう一回開催し、来年度以降も継続して開催する予定だ。講師については、高校生にお願いすることもおもしろい試みだと考えている。

【3】②防犯カメラの設置に力を入れてほしい。

防犯カメラの設置に力を入れてほしい。

⇒【村長コメント】

東海駅周辺には防犯カメラを設置したが、今後も警察と相談していく。

【3】③区画整理（中央地区）について

区画整理（中央地区）内に未舗装道路があるので、舗装してほしい。

⇒【村長コメント】

当該道路は子どもたちも利用している。未舗装の理由、舗装工事の実施時期等について担当課に確認する。

⇒【区画整理課コメント】

ご要望のあった道路の舗装ですが、当該道路は幅員 6mの道路で計画しておりますが、現況では計画幅員まで道路用地を確保できていない状況にあります。今後も用地確保に努め、用地が確保出来しだい道路整備してまいります。

【4】①舟石川中丸集会所の男性トイレについて

集会所で開催するサロンは参加者がみな高齢者のため、休憩時間は特に男性トイレが大変混雑する。集会所によってはトイレが2つ設置されているという話も聞く。集会所を改修してもらえないか。

⇒【村長コメント】

担当課に補助金の制度を確認する。集会所の建築費用は村から補助金が交付されるが、改修（増築）の際は、自治会で合意を得て、自治会の予算で実施することになると思われる。

⇒【地域づくり推進課コメント】

本村では、集会所の建設工事や改修工事等を自治会の予算において実施する際に、費用の一部を補助する制度がございます。

今回、ご要望のございました、集会所の男子トイレ改修につきましても、補助金の対象となりますが、自治会の負担も生じることから、まずは自治会長へご相談いただけますと幸いです。

【4】②区画整理（中央地区）内の公園設置について

区画整理（中央地区）内になかなか公園ができない。また、設置する際は高齢者にも利用しやすいものとしてほしい。

⇒【村長コメント】

公園の設置時期等について、担当課に確認する。

⇒【都市整備課コメント】

東海中央地区では区画整理事業に伴い、5箇所の公園を新規に整備する計画です。それぞれの公園の整備時期につきましては、周辺道路や上下水道等の進捗状況や予算等に合わせて事業を進めていく計画でございます。

現在、優先的に整備する公園として、中央地区内で最も面積が広い『神楽沢近隣公園』について、令和2年度に詳細設計を実施しております。その中では、高齢者や障害者等を含むすべての人々の利用に配慮したユニバーサルデザインの考え方を取り入れております。

整備スケジュールは、令和3年度に造成工事を進め、令和4年度以降に工事に着手していく計画でございますので、ご理解の程よろしく申し上げます。

【5】①幼保再編計画の進め方

特定の幼稚園への入園を想定して家を建てたにも関わらず、来年度以降の入園者は転園を迫られることになる。保護者が働いて保育所への入園を希望した場合、保育所での受け入れは可能なのか。

情報公開請求した議事録では議論の経緯が確認できず、村松幼稚園一園という結果に行きついた理由が不明である。幼稚園を減らすこと自体には納得している。しかし、行政が一方的に決めるの

は強引であり、選択肢が一つしかないのはおかしい。

⇒【村長コメント】

今年度の出生数は240名ほどである。子どもの数が減っているのに、働く母親が増えたとしても、現在の幼稚園児数がそのまま保育所にスライドすることはないと考えている。

議論の過程においては、情報公開請求の対象となっていない口頭での打ち合わせも行っている。

幼保再編計画については様々な御意見をいただいているが、幼稚園の保護者の疑問に100%は応えられていないと感じている。今回改めて知ったこともある。村立幼稚園の保護者を排除するつもりはなく、今後も話をしていきたいと考えている。

【5】②幼保再編計画への提案

幼保再編の理由として保育士不足という説明を受けたが、村は保育士の採用条件を幼稚園教諭・保育士両方の有資格者に限定しておりハードルが高い。どちらかの資格を持っていれば採用できるよう、ハードルを下げてもどうか。他自治体では両方の資格を求めているケースは少ない。採用後、働きながら資格をとることもできる。また、採用条件の変更が難しければ会計年度任用職員でもよいのではないかと。資格が少なかったり、会計年度任用職員であれば給料も少なく済むため、財政的にもよい。

幼稚園教諭・保育士は女性が多いので、長期休暇や退職する方も多いのではないか。

舟石川幼稚園、須和間幼稚園は立地上、自然に親しめた。子どもたちに同様の教育の機会を提供するため、石神幼稚園の定員増員も検討してほしい。

絆の敷地への幼稚園の新設を望む。絆は児童センターがあり、避難所にもなっている。那珂市のように新設1園への統合なら納得できる。

⇒【村長コメント】

人事政策上、幼稚園のことだけを考慮して採用条件を変更することはできない。また、働きながらの資格取得は、日々の業務を考えると現実的ではない。なお、柔軟な配置転換が行えるよう、将来を見据えて正職を採用したいと考えているが、人材派遣会社に委託費用の支払いも発生しているので、会計年度任用職員の採用については財政的にも良策ではない。幼稚園教諭・保育士に女性が多いのは事実だが、採用すると40年雇用することになる。「休暇の取得」や「途中退職」する想定で採用はできない。

石神幼稚園の園舎の新設は難しいため、小学校の空き教室の利用を検討したが、小学校エリアと幼稚園エリアのゾーニングの問題があり、実現は厳しい。

絆の敷地への幼稚園の新設は御意見として伺う。

【5】③幼保再編計画の課題

保育所の家庭よりも幼稚園の家庭の方が子どもが多い。保育所を優先させると子どもは減っていく。村として、子どもを増やすための環境づくり（幼稚園）が必要なのではないかと。また、幼稚園がないと、働こうとしている人が働けなくなる。

来年度の舟石川幼稚園は3歳児が今の倍以上在籍する。舟石川幼稚園だけでさえ発表会等のイベントは2回に分けて開催されている。村松幼稚園も施設規模が十分ではないため、さらに人を集めるのはコロナ対策の観点からも危険ではないか。

村松幼稚園一園とした場合、通園のため近隣道路の交通量が増えることを地域住民に説明したのか。既に大渋滞のところにさらに人を集めることになる。

村立幼稚園の保護者は自分で送り迎えをし、先生と話し、園で友達と遊ぶ子の姿を見たいと思っている。バス通園ではそれが奪われる。バスは村立幼稚園の魅力を低下させる。

⇒【村長コメント】

子育て支援政策については、様々な視点で総合的に判断する必要がある。保育サービスの提供による待機児童の解消も子どもを増やすための環境づくりと言える。しかし、保育所に目がいきすぎたのは間違いない。

村松幼稚園への集約に当たって都市計画上の課題はある。また、通園バスの必要性は感じている。

【6】①幼稚園再編整備基本計画を進めるにあたっての検討会議について

検討会議は在園児の保護者だけで構成しようとしているようだが、構成員となった在園児保護者の負担・責任が大きいため、書面で報告・フィードバックする方法が良い。また、来年度以降の入園で転園しなくてはならない未就学児の保護者や、これから妊娠する女性、卒園児保護者や地域住民全てを含めた「住民説明会」であるべき。

舟石川幼稚園の閉園まで3年である。3年で課題解決の目途が立たなかったらどうするのか。保護者の声は無視するのか、解決するまで延期なのかを検討しておいてほしい。

⇒【村長コメント】

構成員が一同に集まるのがよいのか、一方で参加者が多いと意見を出しにくいという面もあるため、開催手法については検討する。

3年後に向けて手続きを進めていくので、現時点で課題解決の目途が立たなかった場合は想定していない。

【6】②コロナ禍における、幼稚園での村内飲食店の弁当提供について

コロナ禍の村内事業所支援策として、村内飲食店の弁当を購入して幼稚園で提供していただくことはできないか。給食室の改修や栄養の管理までは求めない。また、幼稚園・保育所の運営について財政的な問題があるのであれば、将来的に自校給食ではなく、給食センターでも良いと考えている。

⇒【村長コメント】

役場が給食を提供するとなると、栄養、食育まで考えた自園給食となる。これまで村は自園給食を貫いてきた。最近まで調理師も正職を配置していた。財政的なバランスが崩れるのであれば考えていく必要はある。

※特筆事項がなかった方につきましては、掲載を割愛させていただきます。